

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】総合表現技術		
担当者(Instructors)	伊藤 数馬, 新實 広記, 矢内 淑子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
身体表現・音楽表現・造形表現に関する知識と技術を習得する。それらを統合して、表現活動にかかる教材の活用と作成を通して、保育環境の構成や、遊びの展開のための実践を行う。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	身体表現・音楽表現・造形表現にで習得した知識や技術を基盤にして、グループワークやディスカッションを取り入れて、演習形式で行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	身体表現に関する知識や技術を学ぶ1：身体や運動機能の発達と表現の知識と技術	幼児の身体や運動機能の発達について知識を得る。と同時に各年齢にふさわしい身体表現教材についての技術を磨く。	☐
第2回	身体表現に関する知識や技術を学ぶ2：日常生活や経験における展開について	身体表現は大きく2つの側面をもつ。日常現れるひとつは表出に近いもの、もう一つは表現である。ここでは日常生活に見られる前者の表現について、事例を見ながら学ぶ。	☐
第3回	身体表現に関する知識や技術を学ぶ3：劇遊び・発表会等の展開の方法について	身体表現で表現の総合的な教材として、劇遊び・発表会の事例を鑑賞する。自ら簡単な劇を演じて、お話から劇へ発展させるプロセスを学ぶ。	☐
第4回	音楽表現に関する知識や技術を学ぶ1：テーマ曲の作曲	必要なメインテーマの曲を作曲する。	☐
第5回	音楽表現に関する知識や技術を学ぶ2：バックグラウンドミュージックの構成	場面ごとに必要な音楽や・音を用意する。	☐
第6回	音楽表現に関する知識や技術を学ぶ3：歌の練習	歌の練習や演奏の練習を行う。	☐
第7回	造形表現に関する知識や技術を学ぶ1：場面スケッチ	場面構成の数の決定やその場面のスケッチを行う。	☐
第8回	造形表現に関する知識や技術を学ぶ2：小道具・衣装の作製	必要な小道具や衣装を作る。	☐
第9回	造形表現に関する知識や技術を学ぶ3：大道具・背景の作製	大道具や背景の製作を行う。	☐
第10回	総合表現に関する知識や技術を学ぶ1：テーマの決定	劇のテーマを決める。役柄など劇に必要なことを決める。	☐
第11回	総合表現に関する知識や技術を学ぶ2：シナリオ作り	シナリオを作る。また、発声法も学ぶ。	☐
第12回	総合表現に関する知識や技術を学ぶ3：本読み	シナリオを見ながら脚本の本読みを行う。	☐
第13回	総合表現に関する知識や技術を学ぶ4：立ち稽古	劇づくりの共同製作を通して、お互いのアイディアや造形表現を融合し一つの形にまとめあげる。	☐
第14回	総合表現に関する知識や技術を学ぶ5：リハーサル	各表現技術を総合して、劇として完成させる。言語表現では台詞で筋をつなぎ、身体表現では表現に深みを与え、音楽表現では劇の効果を高め、造形表現では場面を設定するなどを感じながら、豊かな劇へと作り上げる。	☐
第15回	発表とまとめ	劇の発表を行い、まとめとする。	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
事前学習：5つの領域の基礎を復習しておく。（2時間） 事後学習：ボディレッスンを常に行う。また、授業時間内でできなかったものを作り上げる。（2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
グループごとに発表された制作物や表現作品については、全体で共有する機会を持ち、互いに意見交換や評価をすることで、課題に対するフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◇ 2018子ども発達DP1	子どもの発達を理解し、表現する楽しさや喜びを子どもたちに伝えることができるか。
	◆ 2018子ども発達DP2	音楽、身体、造形表現の向上とともに、それらを統合した表現活動の展開を主体的に行うことができるか。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 演劇発表の実技、課題レポート。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要なものについては授業の中で配布するので、特別な指定はしない。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業時にその都度指示をする。	
2		
3		
4		
5		